

令和3年度 晴海中学校 外部評価報告書

評価委員： 織田幸雄委員長 山口啓朗副委員長 遠藤康一委員

報告書作成者：織田幸雄委員長

評価時期 令和4年2月

## 1 重点目標の評価

### <重点目標1について>

「生徒の学習意欲を高め、確かな学力の定着を目指す教員の授業力の向上」

- ◇シラバスを授業中折に触れ、生徒達に中身を確認させることで、自らが学んでいく指針となり、より深い学びに繋がると思う。
- ◇コロナの影響もあり、親と先生のコミュニケーションの場が減っているため、気軽に相談できるような仕組みが必要だと思う。
- ◇資料を拝見すると先生方は、大変工夫されて日々教育活動に取り組んでいることが分かる。言語活動・表現力に関しての取組は、多くの科目に共通する力ですし、論理的に物事の間接性を組み立てることに繋がるのでとても良いと思う。

### <重点目標2について>

「生徒の活躍の場を意図的に増やし、生徒を鍛え、充実した3年間を過ごす」

- ◇コロナ禍で学校行事が中止や縮小を余儀なくされたものの、生徒達が前向きに学校生活を送っていることがアンケートから感じられた。
- ◇地域防災において中学生の果たせる役割はとて大きいので、防災訓練などの取組の際、地域との連携を勘案し実施されることを望んでいる。
- ◇オンラインを活用したさまざまな取組をされている。生徒のコミュニケーションにも変化が起きていると思うが、あまり固定化されない関わり合いの環境が生まれると良いと思う。

## 2 今後の改善に向けた意見

- ◇通常レベルに届かない生徒のフォローを強化してほしいと思う。
- ◇質問教室や家庭学習は、弱点の克服や得意分野の発展など、生徒個々に目標や課題を設けられると良いと思う。

## 3 その他の意見

- ◇資料に生徒や保護者の自由意見を添付していただいたのは、とてもよいと思う。厳しい意見もあるが、それらを開示することは諸問題に対して真摯に向き合おうとする先生方の姿勢の表れだと思う。
- ◇ICT活用については進んでいるようだが、今後より一層の進めていただきたい。
- ◇学校・保護者・地域が三位一体となって、より良い教育環境を築いていただければと思う。